

【研究主題】

「見つめる力」と「見通す力」の育成
～人との関わり、学びのつながりを意識した授業改善を通して～

江田島中学校区の
15歳の生徒に身に付けさせたい力

自己を認識する力

自分は何が好きなのか、自分は
どういう人間なのかなど、自分
自身のことを理解することがで
きる力

表現する力

自分自身のことや自分の意見な
どを、相手や場面に応じて言葉
の使い方や表現の仕方などを工
夫しながら伝えることができる
力

自分の人生を選択する力

自分の夢や目標、自分がやりたい
ことなどについて、自分で考
え、選択し、自分の意志で決め
ることができる力

小学校 社会で活躍する方とつなぐ

- 保護者、地域の方によるお話（身近な学び）
- 外部講師による「出前授業」の実施

中学校 資質・能力を地域、産業界と共有する

- 第1学年：自分調べ、職業調べ
- 第2学年：職場体験活動、「自己表現」活動
- 第3学年：外部人材による企業面接体験

基礎となる能力

- 道徳教育を通して
 - ・自分も相手も大切にする
 - ・自分の長所や適性について理解する
- 総合的な学習の時間を通して
 - ・自ら課題を見つけ、課題解決に向けて計画を立てる
 - ・自ら課題を見つけ、課題解決に向けて情報収集する
 - ・自分の将来の自己実現に向けたプロセスを具体化し、ライフプランを立てる
- 各教科における授業を通して
 - ・主体的に授業に参加する
 - ・対話を通して協働的に学ぶ
 - ・学びを振り返り、成果と課題を次の学びに生かす

基礎となる態度

- 時間を守る
 - ・ノーチャイムでも自分で時間を意識して行動することができる
- 整理整頓
 - ・自分で机を揃えることができる
 - ・自分で椅子を納めることができる
 - ・ロッカーを整理整頓することができる
- 掃除
 - ・静かに掃除をすることができる
- 挨拶・礼儀
 - ・教師や来客に対し、気持ちの良い挨拶ができる
- 感謝
 - ・心の込もったお礼が言える

子供が「自分の気持ちを受け止めてもらえる」と
安心できる学校や家庭での環境づくり

地域社会

産業界